



環境経営レポート

2023年度

(対象期間：2023年5月 ～ 2024年4月)



発行日：2024年7月19日



株式会社 創建

目次

1. 組織の概要	p. 3
2. 認証・登録の対象範囲	p. 3
3. 環境経営方針	p. 4
4. 実施体制	p. 5
5. 環境経営目標	p. 6
6. 環境経営計画	p. 7
7. 環境経営目標の実績	p. 9
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	p. 10
9. 環境経営活動の内容と実績	p. 11
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	p. 14
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	p. 14

1. 組織の概要

- 1) 事業所名
代表者氏名
-  **株式会社 創建**
代表取締役社長 村上 伸
- 2) 所在地
- 本社・倉庫 〒847-0074
佐賀県唐津市和多田先石6番38号
- 指定管理部唐津市事務所 〒847-8511
佐賀県唐津市西城内1番1号
- 指定管理部相知事務所 〒849-3201
佐賀県唐津市相知町相知2055番地1
- 3) 環境管理責任者
担当者
連絡先
- 代表取締役社長 村上 伸
営業部 山下 則子
TEL : 0955-74-5118 FAX : 0955-74-5113
Email : soumu@k-souken.co.jp
- 4) 事業の内容
- 総合建設業
指定管理施設の運営
- 5) 事業の規模
- 総売上額：1,115,779千円（うちJV分は458,283千円を含む）※税込
- | | 単位 | 本社 | 倉庫 | 指定管理部
唐津市事務所 | 指定管理部
相知事務所 |
|------|----------------|---------------------|---------------------|-----------------|----------------|
| 従業員数 | 人 | 27 | - | 5 | 2 |
| 延床面積 | m ² | 435.7m ² | 362.9m ² | 唐津市庁舎内 | 相知市民
センター内 |
- 6) 事業年度
- 5月から翌年4月まで

2. 認証・登録の対象範囲

- 1) 対象事業所
- 本社・倉庫、指定管理部（唐津市事務所・相知事務所）
- 2) 事業活動
- 土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工・コンクリート工事業、
石工事業、屋根工事業、管工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、
塗装工事業、内装仕上工事業、機械器具設置工事業、水道施設工事業、
解体工事業、指定管理事業
上記の全組織・全活動

3. 環境経営方針

株式会社 創建は、建設工事を通じて地域の安全・安心及び生活環境の改善と維持に貢献するとともに、次世代のために、地域のみならず広く地球環境の保全と地球温暖化防止に役立つよう事業活動を継続していきます。

1. 次の項目を重点項目として取り組みます。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物排出量の抑制とリサイクルを推進します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 地域環境貢献活動を推進します。
 - (5) 施工現場における環境に配慮した機械の使用と工法に取り組みます。

2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。

3. 環境経営の継続的改善に努めます。

制定日 2017年11月24日

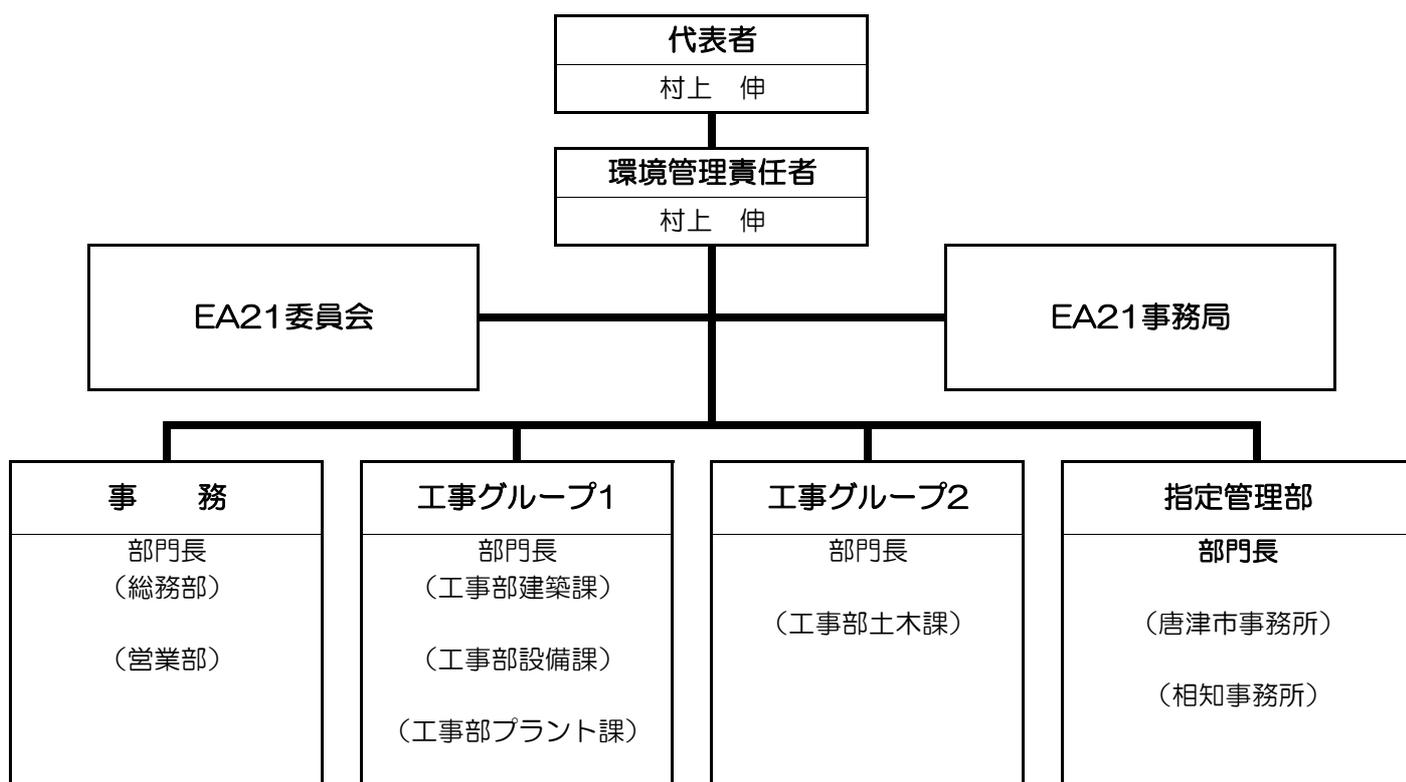
改定日 2022年4月1日



株式会社 **創建**

代表取締役社長 村上 伸

4.実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 ◎ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する。 ◎ 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。 ◎ 環境への取組みを実施するための資源（人・もの・金）を準備する。 ◎ EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ◎ EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境経営実績を向上させる。 ◎ 毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ◎ 3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 3ヶ月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 環境管理責任者を補佐し、EA21文書・記録類及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ◎ 社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を部門全員に周知する。 ◎ 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境経営を推進する。 ◎ 自部門で発生した問題点の是正処置・予防処置を実施する。 ◎ 自部門に関する法規制等を遵守する。 ◎ 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 ◎ 自部門の教育訓練を実施する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する。 ◎ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加する。

5.環境経営目標（2022年度～2026年度）

環境目標	サイト区分	単位	基準年	目標				
			2020年度	2022年度 1.0%減	2023年度 1.5%減	2024年度 2.0%減	2025年度 2.5%減	2026年度 3.0%減
			2020年5月～2021年4月	2022年5月～2023年4月	2023年5月～2024年4月	2024年5月～2025年4月	2025年5月～2026年4月	2026年5月～2027年4月
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	102,103	101,082	100,571	100,061	99,550	99,040
① 電気使用量の削減	本社等	kWh	26,272	26,009	25,878	25,747	25,615	25,484
	現場	kWh	11,677	11,560	11,502	11,443	11,385	11,327
	指定管理	kWh		活動内容を目標と致します。				
② ガソリン使用量の削減	本社等	L	5,819	5,760	5,731	5,702	5,673	5,644
	現場	L	6,959	6,889	6,854	6,819	6,785	6,750
	指定管理	L	6,422	6,358	6,326	6,294	6,262	6,229
③ 軽油使用量の削減	現場	L	15,074	14,923	14,848	14,773	14,697	14,622
2. 廃棄物排出量の削減								
① 一般廃棄物(可燃ゴミ)排出量の削減	本社等	kg	168			165	164	163
	現場	kg	0	活動内容を目標と致します。				
	指定管理	kg	98	97	96	96	95	95
② 産業廃棄物リサイクル率の維持	現場	%	90%	92%	93%	94%	95%	96%
3. 水使用量の削減	本社等	m ³	144	143	142	141	140	140
	現場	m ³	0	活動内容を目標と致します。				
	指定管理	m ³		活動内容を目標と致します。				
4. 地域環境貢献活動の推進(河川水路等の美化活動)	全社	件数	1	4	4	4	4	4
5. 環境(騒音・振動)に配慮した機械の使用及び工法への取組	現場	苦情件数	0	0	0	0	0	0
	現場	情報技術の活用例	3	4	4	4	4	4

★備考★

全社
本社等現場
指定管理

1. 基準年は2020年度としますが、当該年度の現場数が著しく少なかったため、電気(現場)と軽油使用量(現場)については2019年度の実績値を基準値とします。

2. 購入電力の二酸化炭素排出係数は0.480kg-CO₂/kWh(九州電力 調整後排出係数2020年度)を使用しています。

3. サイト区分・・・

全社：本社・倉庫、現場、指定管理部

現場：現場事務所を含む建設現場

本社等：本社・倉庫

指定管理：指定管理部 唐津市事務所・相知事務所

4. 指定管理部は庁舎内の一角に所在し、電気使用量・水道使用量の数値測定が困難なため、目標値は設定しません。

6. 環境経営計画（2023年度）

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 電気使用量の削減	本社等・現場	1 昼休みなどの照明が不必要な時は消灯する。	当該部門長	事務、 工事グループ ¹ ・2	●			
		2 パソコンは夜間・休日は主電源を切る。			●			
		3 空調の最適化(冷房26℃、暖房21℃程度)を徹底する。			●	●	●	●
	指定管理	1 昼休みなどの照明が不必要な時は消灯する。	当該部門長	指定管理部	●			
		2 パソコンは夜間・休日は主電源を切る。			●			
	2 ガソリン使用量の削減	全社	1 省エネ運転・アイドリングストップを推進する。	当該部門長	全ての部門	●		
2 借上げ車両をハイブリッド車・低公害車へ随時切替る。			●					
3 軽油使用量の削減	現場	1 建設機械等の省エネ運転・アイドリングストップを推進する。	当該部門長	工事グループ ¹ ・2	●			

2. 廃棄物排出量

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 一般廃棄物排出量(可燃ゴミ)の削減	全社	1 電子決済対象を順次拡大する。	当該部門長	全ての部門	●			
		2 両面コピー、裏紙コピーを推奨する。			●			
		3 混合廃棄物から分別回収へ転換する。			●			
2 産業廃棄物リサイクル率の向上	現場	1 混合廃棄物から分別回収へ転換する。	当該部門長	工事グループ ¹ ・2	●			
		2 マニフェストに基づき、適正に処理する。			●			

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 水使用量の削減	全社	1 手洗い時、洗い物、洗車等での節水を励行する。	当該部門長	全ての部門	●			

4. 地域環境貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 地域環境貢献活動の推進	全社	1 地域環境貢献活動への積極的な参加	当該部門長	全ての部門	●			

5. 施工現場における環境に配慮した機械の使用及び工法への取組

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 建設機械の騒音振動の削減	現場	1 低騒音・低振動型建設機械等を使用する。	当該部門長	工事グループ ¹ ・2	●			
2 情報化機器活用による作業効率化	現場	2 リモート、ドローン、電子納品機器を活用する。	当該部門長	工事グループ ¹ ・2	●			

★備考★

1. サイト区分…

全社 : 本社・倉庫、現場、指定管理部

本社等 : 本社・倉庫

現場 : 現場事務所を含む建設現場

指定管理 : 指定管理部 唐津市事務所・相知事務所と定義します。

6. 教育訓練等の実施計画

取組目標	サイト区分	活動項目	担当者	部門	スケジュール												
					5月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
1 環境教育の実施	全社	1 EA21の内容(環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、各自役割分担と責任権限など)、環境問題の現状について教育を全社員に行う。	当該各部門長	全ての部門			○						○				
2 緊急事態の訓練	本社等	1 環境に影響を及ぼす可能性がある緊急事態(火災・地震)への対応訓練	従業員	事務													○
	現場	1 環境に影響を及ぼす可能性がある緊急事態(火災・地震)への対応訓練 ※訓練の内容は変更の可能性があります。	従業員	工事グループ1・2					○								
		2 安全パトロールの実施	当該各部門長	工事グループ1・2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

7. 環境経営目標の実績

活動期間2023年5月～2024年4月

	単位	基準年 2020年度 (2020.5～2021.4)	2023年5月～2024年4月			
			目標	実績	達成率(%)	結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg - CO ₂	102,103	100,571	95,985	105	○
(1) 電気使用量削減						
本社等	kWh	26,272	25,878	23,485	109	○
現場	kWh	11,677	11,502	4,350	162	○
(2) ガソリン使用量削減						
本社等	ℓ	5,819	5,731	7,027	77	△ 省I ₂ 運転に努めているが、1年を通じて事務所勤務者が多かった為、目標を達成出来なかった
現場	ℓ	6,959	6,854	6,721	102	○
指定管理部	ℓ	6,422	6,326	6,009	105	○
(3) 軽油使用量削減						
現場	ℓ	15,074	14,848	13,925	106	○
2. 廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物排出量の削減						
本社等	kg	168	166	203	78	△ 事務所勤務者からのお菓子・弁当ミが増えた為、目標を達成出来なかった
指定管理部	kg	98	96	90	106	○
産業廃棄物リサイクル率	%	90.0	92.0	98.0	93	○
3. 水使用量の削減	m ³	144.0	142	140	101	○
4. 地域環境貢献活動の推進						
全社	件数	1	4	3	125	○
5. 環境に配慮した機械の使用 及び工法への取組	騒音振動 苦情件数	0	0	0	100	○ 苦情なし
	情報技術 活用件数	3	4	0	—	

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は九州電力調整後排出係数2020年度の二酸化炭素排出係数(0.480kg - CO₂/kWh)を使用しています。

※表中の記号は達成率により、○：≥80%、△：70%～79%、×：<69% ★達成率(%)=((目標値-実績値)/目標値+1)×100

※基準年は2020年度としますが、当該年度の現場数が著しく少なかったため、電気(現場)と軽油使用量(現場)については2019年度の実績値とします。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1.二酸化炭素排出量の削減

環境経営項目		実施状況				1年間の評価	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
電気使用量削減	昼休み等の照明が不必要な時は消灯する。	○	○	○	○	ポスター掲示等で、節電の呼びかけをし、節電ができた。	引き続き実施する。
	パソコンは夜間・休日は主電源を切る。	○	○	○	○		引き続き実施する。 全社員に徹底する。
	空調の最適化（冷房26℃、暖房21℃程度）を徹底する。	○	○	○	○		引き続き実施する。
ガソリン・軽油使用量の削減	省エネ運転・アイドリングストップを推進する。	○	○	○	○	自動車燃料削減手順書を再度確認し社員に周知徹底させた。	引き続き実施する。
	借上げ車両をハイブリッド車・低公害車へ随時切替る。	○	○	○	○		引き続き実施する。
軽油使用量削減	建設機械等の省エネ運転・アイドリングストップを推進する。	○	△	○	○	概ね実施できたがトラックの供用日が多かった。	引き続き実施する。

2.廃棄物排出量削減

環境経営項目		実施状況				1年間の評価	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
一般廃棄物	電子決済対象を順次拡大する。	○	○	○	○	分別は概ね出来ているが、社内の書類整理でリサイクル不可能なゴミが出た。	引き続き実施する。
	両面紙 ^① 、裏紙紙 ^② を推奨する。	○	○	○	○		引き続き実施する。
	混合廃棄物から分別回収へ転換する。	△	○	○	△		引き続き実施する。 全社員に徹底する。
産業廃棄物	混合廃棄物から分別回収へ転換する。	○	○	○	○	分別は概ね出来ている。	引き続き実施する。 全社員に徹底する。
	マニュアルに基づき、適正に処理する。	○	○	○	○		引き続き実施する。 全社員に徹底する。

3.水使用量削減

環境経営項目		実施状況				1年間の評価	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
水使用量の削減	手洗い時、洗い物、洗車等での節水を励行する。	○	○	○	○	ポスター掲示等で、節水の呼びかけをしたり、着け置き洗いをした。	引き続き実施する。

4.地域環境貢献活動の推進

環境経営項目		実施状況				1年間の評価	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
地域環境貢献活動の推進	地域環境貢献活動への積極的な参加	○	○	△	△	ハイライク施設除草・町田川清掃を実施できた	引き続き実施する。

5.施工現場における環境に配慮した機械の使用及び工法への取組

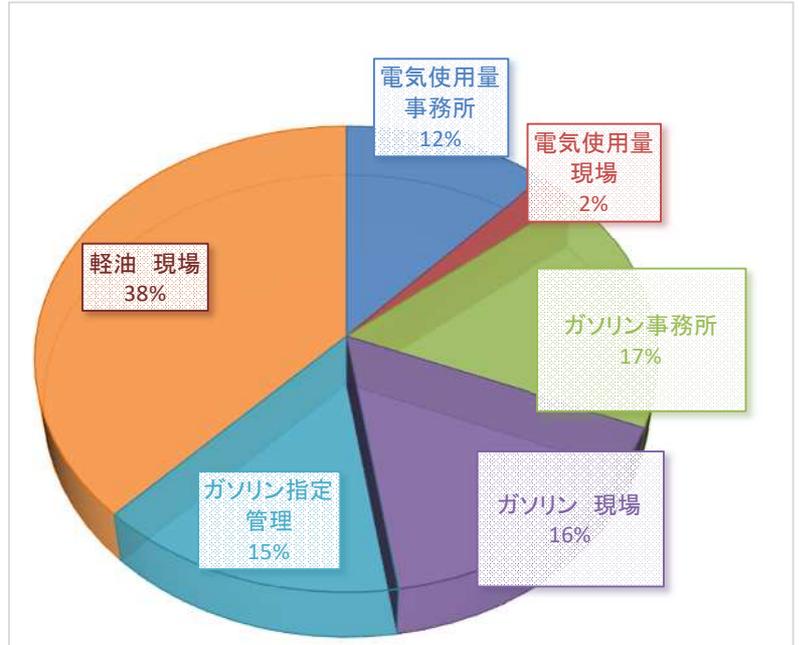
環境経営項目		実施状況				1年間の評価	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
建設機械の騒音振動の削減	低騒音・低振動型建設機械等を使用する。	○	○	○	○	実施できた。苦情なし。	引き続き実施する。

○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

9. 環境経営活動の内容と実績

①2023年度 二酸化炭素排出量の占める割合

	エネルギー消費量	CO2排出量kg	割合
電気使用量事務所	23,485 kWh	11272.8	11.7%
電気使用量現場	4,350 kWh	2088	2.2%
ガソリン事務所	7,027 L	16302.4	17.0%
ガソリン現場	6,721 L	15592	16.2%
ガソリン指定管理	6,009 L	13941.1	14.5%
灯油 現場	198 L	493	0.5%
軽油 事務所	119 L	307	0.3%
軽油 現場	13,925 L	35926.5	37.4%
LPG 本社	13 kg	37.9	0.0%
LPG 現場	8 kg	24	0.0%
全体		95984.8	100%



②各箇所にシールを貼ってエネルギー節約を促しています◎



公共工事のために使用する軽油がCO2排出量の割合を大きく占めています。環境に配慮した建設車両の使用やアイドリングストップを心掛けています。

スイッチ箇所にはシールを貼っています

昼休みは消灯！！
不要な電気はこまめに消しています。
冷房時の設定温度は26℃
暖房時の設定温度は21℃

本社内トイレは全て節水型便器に取替し、水道使用量が減りました

③ゴミの分別を徹底するよう日々努力しています◎◎◎

ゴミの分別再資源化した重量は：952.5kg/年間
(紙類924.7kg、ペットボトル・アルミスチール缶27.8kg)

ペットボトル、アルミスチール缶、瓶、段ボールコピー用紙、雑誌
ティッシュの箱等の紙は徹底的に分別しています



倉庫内分別BOX



1階事務所分別BOX (紙類)

④社員が社用提供する自家用車の排気量に応じ手当を支給しています◎

★車両★

車種	2,000	~1,800	~1,600	~1,500	1000~	1,000CC以下	単車
排気量	CC以上	CC	CC	CC	1,400CC	ハイブリット	
借上げ料	3,000円	4,000円	6,000円	8,000円	11,000円	14,000円	5,000円

★ハイブリット車や、低燃費車を所有する社員が増えてます★

IA773021活動開始2017年1月時点 5台 →2024年4月時点 8台

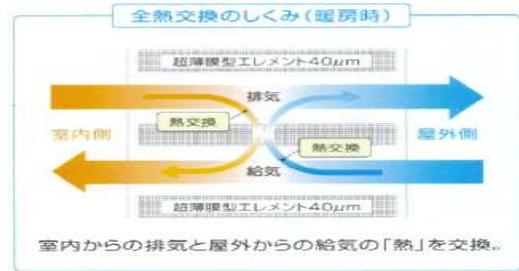
環境経営活動の見直し



会議室にて 定例会の様子

※毎月、定例会議を開いて活動内容の結果や効果を確認しステップアップしています。

★弊社で、ロスナイ換気扇を取付ています
ロスナイ換気扇を取付、コロナ対策と省エネに努めています



※ロスナイにできること

- ・夏期や冬期の外気を冷暖房している室温に近づけて給気するので、快適性の向上や **冷暖房費の節約につながります。**
- ・アレルギー疾患の原因のひとつと言われる室内空気の **チリ・ホコリ・カビ・ダニ**などを排出給気に含まれる **チリ・ホコリ・花粉**などもフィルターでキャッチし、室内の空気清浄をしながら換気します。



7月4日~6日にかけてパイプライン施設の除草作業実施
8月4日町田川清掃を実施しました



機械材料の梱包資材は分別をし、再利用しています
※発泡スチロール・PPバンドも回収して再資源化につなげます

★地域貢献活動の様子

令和5年9月発行

佐賀県で豚熱（国内89例目）が発生！

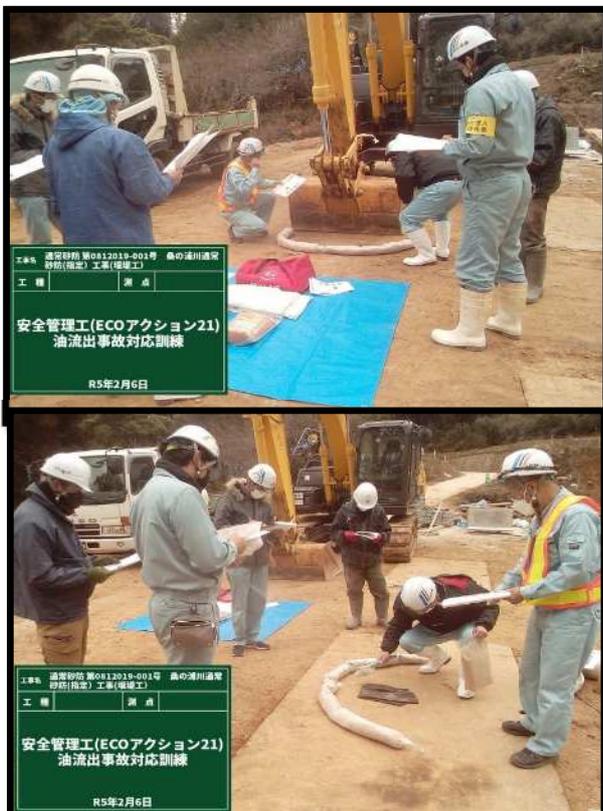
唐津市で2例目となる豚熱が確認されました。

【発生日】 令和5年8月31日
 【発生農場】 佐賀県唐津市肥前町(約1万頭)
 【発生経緯】 8月30日：子豚の死亡が増加していると通報あり
 (直近4日間で約200頭)
 通報を受け現地家保が立入、病性鑑定を実施
 8月31日：国の研究機関で豚熱の患者と決定
 同日、殺処分開始



※豚熱防疫対策
(車両消毒作業8/31~10/20)

★環境上の緊急事態の施行及び訓練の様子



創建はエコアクション21を取得し**環境経営活動**を行っています。

名称：重機作業時 オイル・作業油等流出対応等
 想定した緊急事態：重機・車両等からの油流出等

試行・訓練の内容

- 全体の土質形状、近接構造物の状況、及び河川水位の状況把握
 確認手順（工事仕様書等の再認識と共有化）
 重機から油流出した際の現地実地訓練・山留、河川増水等の必要性把握
 道路(アスファルト)上に油・オイル等が流出した場合の措置手順の確認
- 緊急対応備品や作業所内の役割分担の再確認
- 緊急時通報先の確認 発注元、水道局、ガス会社
 道路管理者、警察、消防署等

試行・訓練結果

バックホウ等、バケット部からの油圧ホースの破損により作動油が漏出し河川に流入することを想定し、油類流出事故対応策マニュアルに基づき手順の確認及び緊急用油液処理キットを用いて現場内での訓練を実施した。同上路面への油漏洩を想定し対応マニュアルに基づき確認を行った。工事現場に応じた対応が異なることの認識が必要である。土砂災害や河川の急な増水についての対応策も考慮する必要がある。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	一般廃棄物及び産業廃棄物（水銀使用製品を含む）の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
建設リサイクル法	一定規模以上は建築4品目の分別解体と再資源化	○
オフロード法	特定特殊自動車の使用制限	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	○
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検、引渡義務	○

2024年7月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、法令違反はなく、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

●活動を始めて7年が経過し3回目の認証更新をしたが、現場、指定管理部も含め会社全体で、エコアクションに取り組むことができている。

●工事量の増減などにより変動はあるが、全体として電気使用量や燃料使用量の削減への努力がなされている。コロナ後の生活変化の影響もあるがゴミの排出量が増えており、社員の理解と削減への努力が必要である。

代表取締役社長

村上 伸